

医学会発（第 62 号）

平成 30 年 1 月 12 日

日本医学会分科会  
理事長・会長 殿

日本医学会

会長 門田 守人

日本医学会医学用語管理委員会

委員長 脊山 洋右

遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

座長 辻 省次



遺伝学用語について（お願い）

平素より学会業務につきましてご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、遺伝学の用語に関して、本年 9 月に日本遺伝学会が「遺伝単」を発行し、「優性」を「顕性」に、「劣性」を「潜性」に変更する案が示されました。

この提案はマスコミ各紙にも取り上げられ、社会の関心が高いことが伺えました。

日本医学会医学用語管理委員会では、遺伝医学用語は、医療、教育、社会等の広範な領域にわたって重要な用語であるとの認識から、関連する分科会および日本遺伝学会に参加をいただいて「遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ」を立ち上げ、12月7日に第一回の会議を開催し、検討を開始しました。

本件は重要な課題であることから、各分科会からも十分な意見の聴取を行うと共に、社会におけるコンセンサスの形成など、しっかりしたプロセスで検討を進め合意形成をめざすことにしております。

このような状況にありますことから、各分科会におかれましては、用語の変更について、当面慎重なご対応をいただくようお願いする次第です。

なお、ご意見がございましたら、いつでも、本ワーキンググループまでお寄せください。

本件に関する連絡先：

日本医学会事務局 担当 長門

03-3946-2121（内 2041）

hnagato@po.med.or.jp